

情報提供日	令和3年(2021年)3月9日(火)
問い合わせ先	広島市植物公園 栽培・展示課 堀川、濱谷 管理課 在岡、高井 TEL 082-922-3600

国内3例目 世界一背が高い花を咲かせる植物 アモルフォファルス・ギガスが開花します

※ 詳しい開花状況については、082-922-3600までお問い合わせください。

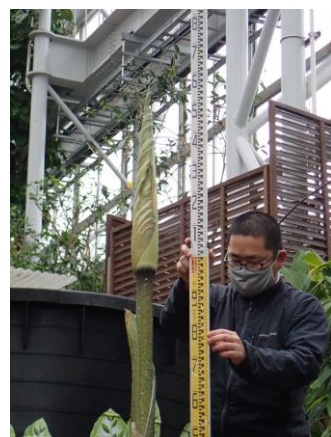
広島市植物公園で栽培しているアモルフォファルス・ギガスが3月中下旬の深夜に開花します。

アモルフォファルス・ギガスはインドネシアのスマトラ島に自生するコンニャクの仲間で、自生地では高さ4m以上にもなり、世界で最も背の高い花を咲かせると植物とされています。

当園では2017年3月に苗を導入し、育成4年目での初開花となりました。国内では東京都の小石川植物園で2003年と2007年に開花した記録があり、今回の開花は国内で3例目となります。

今回開花する花は3月7日時点で高さ151cmです。開花まで通常10年以上かかると言われる中、導入後4年目での開花のためか、花が小さめになっています。花の寿命は2日ほどと思われ、異様な外観の花を楽しめそうです。運が良ければ？開花前後の強烈な異臭を体験できるかもしれません。

この機会にお見逃しのないよう、植物公園へお越しください。



アモルフォファルス・ギガス

2021年3月7日撮影

アモルフォファルス・ギガス *Amorphophallus gigas* Teijsm. & Binnend.

インドネシア スマトラ島固有種

コンニャクの仲間で、自生地では高さ4m以上にもなり、世界で最も背の高い花を咲かせるとされています。苞の中に黄色い小さい花が多数あります。昆虫などを引き寄せて受粉するため、苞が開くときに肉が腐ったような強烈な臭いを放つのが特徴です。

開園時間 午前9時から午後4時半まで(ただし、入園は午後4時まで)

入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料

休園日 毎週金曜日(ただし4月13日(金)のみ臨時開園)